第53回 埼玉文芸賞

今回（第53回）の応募期間は
9月1日（水）から11月30日（火）（当日消印有効）
です。皆様の力作をお待ちしています。
なお、詳細については、次頁の【応募要領】をご覧ください。



募集対象作品

小説・戯曲（シナリオを含む）
文芸評論・エッセイ・伝記
児童文学
詩
短歌
俳句
川柳

選考委員

相澤　与剛	北原　立木	高橋千劒破
佐藤　健一	杉浦　晋	野村　路子
金治　直美	櫻沢恵美子	森埜こみち
北岡　淳子	鈴木東海子	野村喜和夫
大河原惇行	沖　ななも	外塚　喬
岩淵喜代子	落合　水尾	尾堤　輝義
酒井　青二	相良　敬泉	四分一周平

※氏名は各部門の50音順で記載

作品募集

■賞
埼玉文芸賞
（賞状・記念品及び副賞20万円）

■応募期間
令和3年9月1日（水）～
令和3年11月30日（火）（当日消印有効）

■応募についてのお問い合わせ・応募先
さいたま文学館内「埼玉文芸賞」係
〒363－0022 桶川市若宮1の5の9
電話 048－789－1515

■主催 埼玉県 埼玉県教育委員会

■主管 さいたま文学館

彩の国 埼玉県

埼玉県では県内の文芸活動の振興を図るため、
文芸各部門において本年の特に優れた作品を顕彰します。

第53回　埼玉文芸賞　応募要領

1 募集対象部門

次の①から⑦の７部門とします。

① 小説・戯曲（シナリオを含む）　② 文芸評論・エッセイ・伝記
③ 児童文学（小説・童話・詩）　④ 詩
⑤ 短歌　⑥ 俳句
⑦ 川柳

2 対象作品

前項に掲げる各部門の作品で、次の(1)又は(2)とします。
(1) **令和２年12月１日から令和３年11月30日**までの間に創作された作品
(2) 上記と同期間内に、新聞・雑誌等に発表又は単行本として刊行された作品

3 応募基準

応募点数は、下記の作品数で１点として数え、１部門につき１人１点応募できます。異なる部門への応募は可能です。
なお、「**1 募集対象部門**」の①、②、③の部門については、下記のとおり基準枚数も設定していますのでご留意ください。

【部　　門】		【基準枚数】	
① 小説・戯曲（シナリオを含む）	… 1編	30～100枚 (12,000字～40,000字)	原稿用紙以外での応募の場合、基準枚数は文字数だけでなく、<u>空白を含めた</u>総字数により400字詰原稿用紙換算を行うこと
② 文芸評論・伝記	… 1編	30～100枚 (12,000字～40,000字)	
エッセイ	… 1編	10～ 30枚 (4,000字～12,000字)	
③ 児童文学（小説・童話）	… 1編	5～100枚 (2,000字～40,000字)	
〃　（詩）	…10編		
④ 詩	…10編		
⑤ 短歌	…50首		
⑥ 俳句	…50句		
⑦ 川柳	…50句		

4 応募資格

埼玉県内に在住又は在勤、在学の方（ただし、平成18年４月１日以前に生まれた方）

5 応募方法

(1)　提出について（原稿、掲載誌、単行本共通）
ア　作品は１点につき３部提出してください（コピー可）。
イ　応募する部門ごとに応募票１枚をあわせて提出してください（コピー可）。
ウ　「**1 募集対象部門**」の①、②、③の部門は、本文巻頭に「400字詰原稿用紙換算○○枚」と朱書してください。

(2)　原稿（パソコン使用を含む）により応募する場合
ア　必ず記載例をご確認の上、本文からページ番号を欄外右下に記載してください。
イ　本文は次のいずれかに従ってお書きください。
【手書きの場合】原則としてA4判400字詰原稿用紙に、縦書き・楷書で記入してください。
【パソコン使用の場合】A4判の用紙（横長の向き）に縦書きで、原則として40字×40行で印字してください。なお、この場合、罫線等の印刷は不要です。
ウ　本文の前には「部門」「題名」「応募者氏名（ペンネームがある場合はペンネームも）」を明記した表紙を付け、ホチキスやクリップで右上を綴じてください。

(3) 掲載誌又は単行本で応募する場合

ア「**1 募集対象部門**」の①、②、③の部門については、応募票の＊1に、選考の対象とする部分を「○○頁から○○頁まで」と明記してください。
なお、前記の方法で選考対象とする部分を明示することが難しい場合には、作品を応募基準枚数内の原稿用紙に収めて書き直してご応募ください（前記(2)の「原稿により応募する場合」の方法参照）。あわせて応募票の＊2も忘れずに明記してご提出ください。

イ「**1 募集対象部門**」の③の詩、④、⑤、⑥、⑦の部門については、それぞれの応募作品数（編、首、句数）を満たしているか確認してください（不足の場合は受付できないことがあります）。

ウ 掲載誌で応募する場合は、応募票の＊2に誌名と発行年月日を明記してください。

6 応募先

さいたま文学館内「埼玉文芸賞」係
〒363-0022 桶川市若宮１－５－９　　Tel.０４８－７８９－１５１５

7 応募期間

令和３年９月１日（水）～令和３年11月30日（火）（当日消印有効）
※応募期間外に提出された作品は、受付することができませんのでご了承ください。

8 発表・賞

入賞者には、令和４年３月上旬に結果を通知します。各部門ごと１名に、埼玉文芸賞（賞状、記念品及び副賞20万円）を贈呈します。該当者がいない部門については、準賞（賞状、記念品及び副賞10万円）を贈呈します。また、高校生等（令和３年度末で18歳以下の方）の作品について、選考委員の推薦により奨励賞（賞状及び図書カード）を贈呈することがあります。なお、選考についてのお問い合わせには応じられません。

9 その他

(1) 応募作品は返却しません（お手もとにコピーを残しておくことをお勧めします）。
(2) 埼玉文芸賞、準賞及び奨励賞受賞作品は、令和４年６月刊行予定の「文芸埼玉」第107号に掲載されます。
(3) 応募者は「文芸埼玉」第107号への作品掲載について、無償で承諾したものとします。
(4)「文芸埼玉」への掲載作品についてはＣＤ等に録音の上、視覚に障害をもつ方の利用に供します。

（きりとりせん）

第53回　埼玉文芸賞　応募票

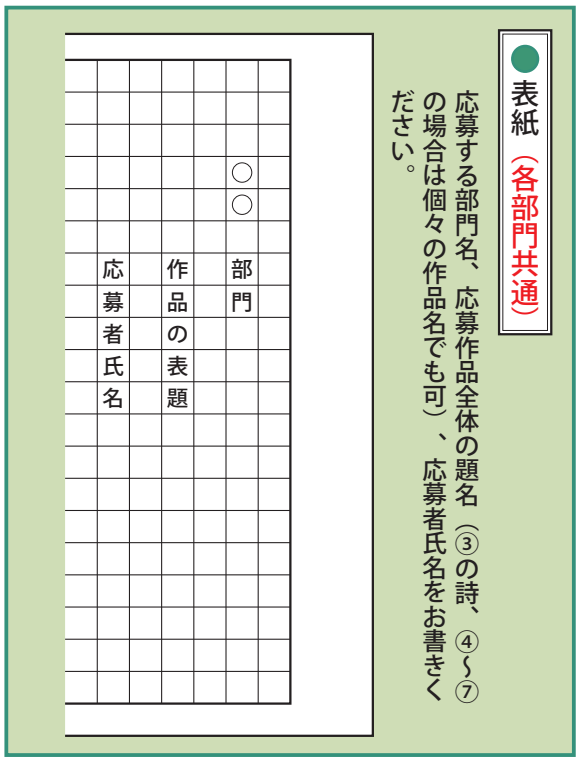
太枠内は必須項目です。

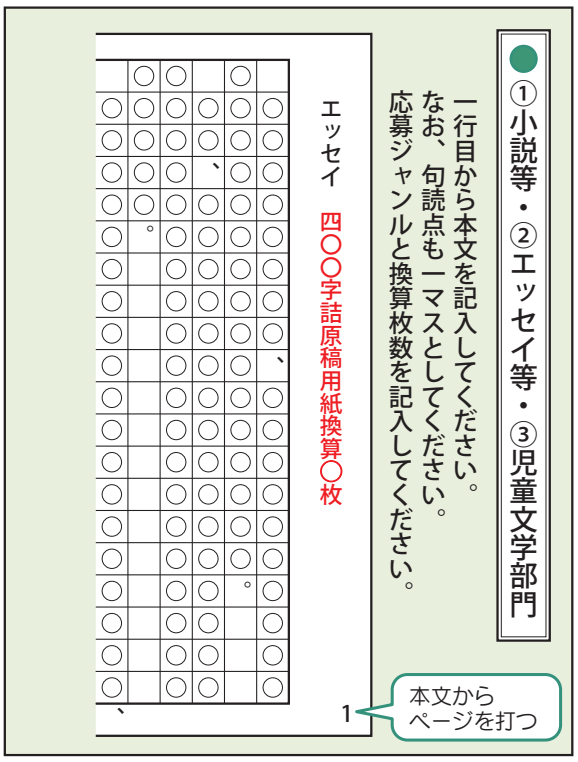
受付番号（事務局が記入）	

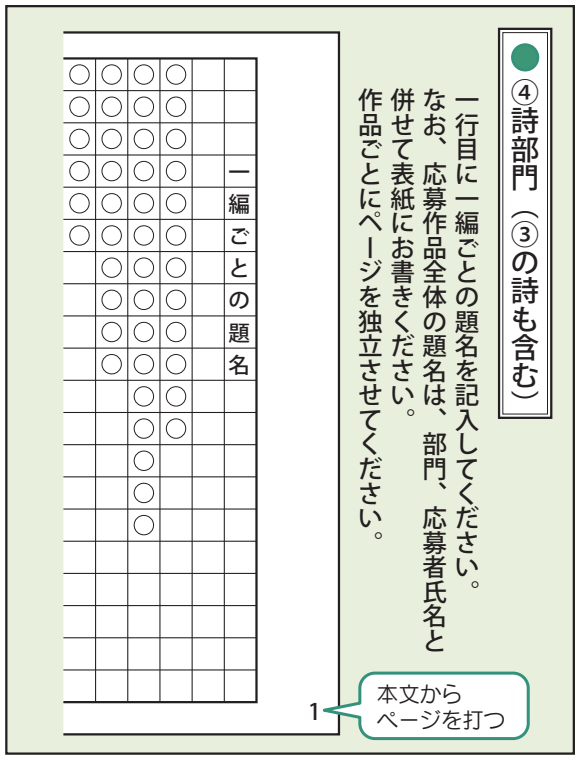
部 門	（該当するジャンルを○で囲んでください） **小説　戯曲　文芸評論　伝記　エッセイ** **児童文学　詩　短歌　俳句　川柳**		ふりがな **題　　名**		
氏 名	ふりがな **ペンネーム**				
	ふりがな **本　　名**		**職業又は在学校名**	**年齢**　　**歳**	
住 所	〒　　－		**電話番号**	（　　）　　－	
			原稿単行本等の別	（該当するものを○で囲んでください） **原稿 ・ 単行本 ・ その他（掲載誌等）**	
＊1	部門①、②、③（詩を除く）の『掲載誌』『単行本』の場合の審査対象ページ （　　頁）から（　　頁）まで ４００字詰原稿用紙換算（　　枚）				
＊2	部門①～⑦の『掲載誌』『単行本』の場合 誌名（　　）発行年月日（　　年　　月　　日）				

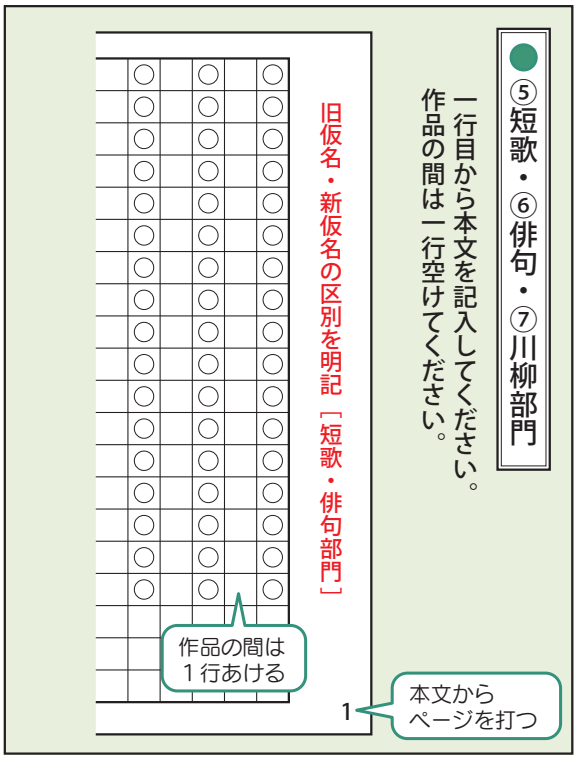
※ 個人情報は、応募者への問い合わせ若しくは当館の事務以外には使用しません。

【原稿の記載例】（パソコン使用の場合も同様に記載してください。その場合、罫線は不要です。）









【応募する前に】以下をご確認ください。

- □ 応募票に記入漏れはありませんか（題名と氏名をはっきりご記入ください）。
- □ 作品に表紙を付け、「部門」「題名」「応募者氏名」を記載しましたか。
- □ 部数は３部（コピー可）ありますか。
- □ 作品数・原稿枚数など応募基準を満たしていますか。
  散文の作品は本文巻頭に**朱書きで「400字詰原稿用紙換算〇枚」**とご記入ください。

＊ 詳細については下記へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先
さいたま文学館（埼玉文芸賞係）
〒363-0022　埼玉県桶川市若宮1-5-9
電 話 048-789-1515


埼玉県のマスコット　コバトン